



# Rin Rin No.83

りんりん会報 平成 27 年 1 月発行

りんりんの会  
乳がん体験者の会

\*凛(りん)として…自分のために！

\*輪(りん)として…仲間のために！

\*鈴(りん)として…社会のために！



明けましておめでとうございます！

元日は新たな年明けに送られてきた年賀状を 1 枚ずつ読みながら、今年もいつものようなお正月を迎えられたことに改めて感謝してみたり、今年はどうな 1 年になるのかな〜とワクワクしたり…。年齢は一つずつ確実に重ねてしまっていますが、りんりんの会は10年を過ぎても、最初の頃の患者としての様々な思いを忘れずに、周囲の方々に感謝しながら、皆さんと一緒にゆっくと歩いて行きたいと考えています。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## ～今後の定例会の予定です！～



### ●1/24(第4土) 9:30～11:30 情報交換会・相談会

- \*場所:市民病院 3 階会議室にて \*参加費:300 円(お菓子・資料代 ※飲み物は各自持参となります。)
- ※病院入口受付(守衛室に場所案内資料を置いています。初めてのの方はご利用ください。)
- ★今回は、参加された方々の中で、相談内容別に分け、小グループでの情報交換の場にする予定です。治療のこと、生活のこと、再発のことなど、それぞれの方々の不安解消の場にしたいと考えています。
- ★個人情報はお互いに守り、安心してお話し出来る居心地の良い場にしましょう！

### ●2/21(第3土)～22(日)温泉に入ろう会(鳴子温泉一泊ツアー)のお誘い

- \*宿泊場所:鳴子観光ホテル \*参加費:15,000 円(宿泊代・食事代・入湯料・税込) \*現地 15 時集合
- ★古川から電車利用の方はご一緒しましょう。★参加ご希望の方はりんりん携帯(番号:090-6259-9205)に1月末までご連絡ください！ 折り返し、詳細についてご連絡致します。鳴子温泉美肌の湯でホッコリしましょ！！

### ●3/28(第4土) 9:30～11:30 情報交換会・交流会

- ※年間予定表には 21 日(第 3 土)と記載しましたが、祝日でしたので 28 日(第 4 土)に変更しました。(場所・時間は変更有りません)お間違いの無いようによろしくお願ひ致します。

#### <サロンからお知らせ！>

- ★1/21 (水)13:30～女性の集い(サロンにて)
- ・サロンでは、週に 2 回程度、乳がん体験者(ピアサポーター)として高橋(りんりん代表)が患者様の不安や心配と一緒に解決できるようなおしゃべりサロンを担当しています。(日程は別資料を参照くださいね。)
- ・今回は女性限定で安心してご相談や情報交換が出来るような集いを企画しましたので、たくさんの方々のご参加、お待ちしております！

#### <りんりん事務所からお知らせ！>

- ★毎月第 2・第 4 水・13:00～16:00 オープン
- 場所:正明薬局(古川三日町 1 丁目 3-23 長井医院隣り)
- ・薬局のオーナーさんの善意でお部屋をお借りしています。予約不要ですので、是非一度お立ち寄りください。りんりんスタッフ(体験者)がお待ちしています。ウイッグや下着のサンプル・冊子や情報が満載です。・また、ご依頼があれば手作りパッドの講習も行っております。(こちらは事前にりんりん携帯にお問い合わせくださいね。)

## ～りんりん会報に寄せてNo.19～

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田 龍一

### 第3回 With You 東北

去る11月30日(日)、仙台駅前のアエルで、第3回 With You 東北が開催されました。昨年もご紹介しましたが、乳がん患者さんと医療者の交流といえますが、乳がんに関する情報を得たりわからないことを訊いたりするだけでなく、患者さんの悩みや直面している問題を医療者側が知る機会でもあります。

今回は、宮城県の乳がん患者会を代表して、石巻のパセリの会と、わがりんりんの会の講演がありました。パセリの会代表の菅原さんは当日欠席されたのでビデオレターというような形で発表されましたが、りんりんの会代表の高橋さんはスライドを使って、堂々とわかりやすく自分たちの活動を紹介するとともに、これからどんなことにチャレンジしていくかということをお話してくれました。とても素晴らしい発表でした。案の定評判がよく、いろんな方からりんりんの会ってすごいですね(実際は会そのものもそうですが、高橋さんがすごかったのだと思います)と言ってくださいました。今回は会員の方も遅刻することはありませんでしたので、私も鼻高々でしたね。

続いて、東北大学の多田先生による乳がん情報についての話や、ソシオエステティシヤンの瀬戸さんのお話で勇気づけられた後、メインのグループワークとなるのですが、私は再発し治療中の方といろいろお話ししました。昨年も同じ担当だったのですが、中には昨年も来た方もいらっしゃいました。

始めに、自己紹介とこの会に参加した目的を伺わせて頂いたところ、話し相手を探しに来たという方が複数いました。再発しているということで、そうじゃない患者さんと話すことは遠慮がちだったりするようです。インターネットを使って、遠くにいる同じような患者さんと知り合い、メールでお話したりしているようですが、実際に会って話せる方は余りないという事でした。つまり、受け皿がないのです。りんりんの会も広く開放されていますが、やはり、再発してしまうと、みんなに心配かけたくないとか、可哀想と思われたくないとか、複雑な思いがあってつい足が遠のいてしまうのでしょうか。確かに、同じ乳がん患者でも立場は全然違うのかも知れません。しかし、話してみると、皆さん非常に前向きで、前回このコラムで紹介した大塚さんのような考えの持ち主ばかりで、開き直ったというか、全然くよくよしていないし、むしろ人生を楽しんでいるように感じられました。もちろん病気や治療に対する悩みは尽きないのですが、結局、仕方ない、やるしかない、で解決するようです。振り返ってみると、むしろ再発していない方のほうが、再発が心配だと悩んでいる方が多いようにも思えます。

最後は、がんサバイバー(乳がんではありませんが)の久田邦博さんのお話でした。発病から13年、未だに抗癌剤を服用してはいますが、全国を飛び回り、患者さんのみならず医療従事者向けにたくさん講演しているそうです。家族のため、自分の夢のため、患者さんのため、社会のため、やれることは何でもやるという精神で、あらゆるものに感謝しつつ、日々生きている実感を味わっている様な力強い方でした。きっと皆さんの今後の生き方にも影響を与えたと思うと同時に、大塚さんと共通することがなんと多いこと。あとで大塚さんと話したら、やはり同じように感じたとのことでした。最初はショックだったけれど、がんになったおかげで得たものもたくさんあったということです。それに気づいたとき、「がんに克った」と言えるのでしょうか。

### ※皆様のご意見・ご感想をお待ちしております！※

毎回、会報をご覧になっていただき、ありがとうございます。吉田先生からのコラムや定例会・イベント参加の内容等、皆様への情報提供として掲載しておりますがいかがでしょうか？今後、患者会で企画してほしいことや掲載して欲しい情報、又は感想・体験談など、お知らせいただくと助かります。

【連絡窓口：大崎市民病院相談支援室 ☎ 0229-23-3311】